



株式会社 スガテック

信頼と技術を 未来につなぐ

Plant With Pride

SUGATEC
RECRUITING BROCHURE



信頼と技術を未来に

スガテックが100年にわたり磨き上げてきた技術力。それは、社会のさまざまな場所や製品に使われている鉄、何気なく使っている電気、環境インフラ設備などを生み出してきました。スガテックはあらゆるものの原点をつくることで、総合エンジニアリング企業として培ってきた信頼と技術をさらに100年先までつないでいきます。私たちの最大の経営資源は『人財』です。飽くなきチャレンジ精神を持つ仲間とともに、産業の原点を打ち建てていく。ともに、未来に誇れる産業の原点を打ち建てよう。

Business Field

事業領域 スガテックは幅広い事業領域にわたり、社会に必要なインフラを支えています。

製鐵 <small>日本製鉄大分製鐵所 日本製鉄大分製鐵所第1・2高炉</small>	電力 <small>中部電力 中部電力碧南火力発電所</small>	上下水道 <small>東京都 芝浦水再生センター</small>	環境 <small>松江市 エコグリーン松江</small>



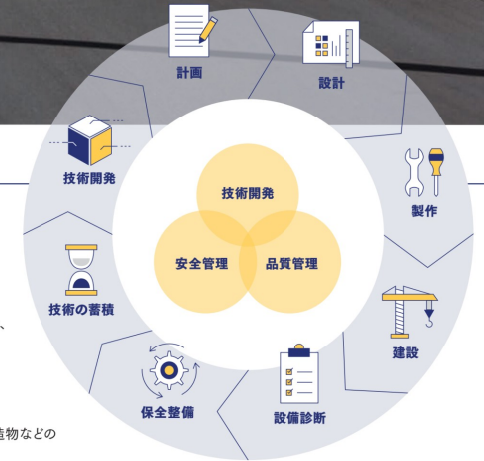
つなぐ

Engineering Technology

スガテックの総合エンジニアリング技術

スガテックにはプラントの計画から設計、建設、稼働後のメンテナンスまでのすべてを行う技術があります。スガテックが工事・整備を行っているプラントから生み出される鉄は、人々の暮らしに欠かせない自動車や建造物などの重要な素材として使われます。そのモノづくりの原点がスガテックのエンジニアリング技術です。

- 石油
- 化学
- 製紙
- 窯業
- 治水





Project.1 施工管理職
コークス炉建設工事

長期の大型プロジェクト、 製鉄プラントの重要設備である コークス炉を建設。

プラント事業部 工事部
SUBARU ITO
伊藤 昂



コークス炉の窯を支える 柱となる設備を 事前に高精度で据付。

スガテックの施工管理は、製鉄所などの建設工事の現場監督として工事全体を管理する仕事です。
具体的には工期内に工事を完了するための「工程管理」、設計・計画書で定められた形状や寸法を守り、建設する設備の強度を担保する「品質管理」、さらに「安全管理」や「原価管理」などを行います。私は現在、コークス炉の建設工事で工事全体を

統括する工事長に就いています。
全体工程2年9か月にわたる工事の第1ステップとして行うのが事前工事です。ここではコークス炉の窯を支える柱となる「バックスター」を建設します。バックスターは煉瓦の窯を支える重要な設備で、長さ約15m、重さ約13tもある柱。クレーンや作業員の力で1本1本、所定の位置に据付けていきます。このとき、±2mm以内の精度が求められるため、現場で効率よく作業できるよう計画を突き詰めておく必要があります。
人の手での作業となるため、仮説を立て、入念な準備をすることが工事をスムーズに進めるためのポイントです。



コークス炉の 操業に必要な 数々の付帯設備を据付。

次の工程では、コークス炉を操業するために他社が炉本体の煉瓦積み工事を行っている間に、炉の付帯となる様々な設備を施工します。
炉本体工事と並行して行うため、スガテックの作業エリアが確保しにくくなるという難しさがあります。主な施工は集塵設備と炉を連結する「集塵ダクト」をはじめ、炉に石炭を供給する「炭層設備」、炉の排気弁の役割となる「煙道ダンパー」、そして炉への燃料供給を制御する弁や装置などの据付です。いずれも炉本体工事の支障になら

ないようクレーンなどの重機を配置し、周辺状況を踏まえて他社と協調しながら工事を調整していきます。
工事期間に余裕はあるものの据付ける設備の物量が多いため、どういう順番で施工するかを十分に練り上げてから工事にかかることが大切です。本来なら容易に据

付できる設備も炉本体工事を優先することで施工難易度が上がることも珍しくありません。しかし、そんなときこそ監督員の応用力と現場調整力が試されます。
ロスなく効率よく作業できる最善の条件づくりを的確に行い、安全かつスムーズな工事を実現するのは大きなやりがいです。



コークス炉を支える 内蔵部分の工事を 完了させ、稼働を目指す。

付帯工事後はいよいよ最終工程の本体機械工事となります。
工期内に各設備の据付から試運転までを完了させなければ炉の立ち上げができなくなる重要な工程です。
ここでは「ドライメン」というガスを回収するダクトを本体の上部に設置し、炉の各設備を動作させるためのエアや水の配管など、コークス炉を支える内蔵のような



設備の数々を据付していきます。
施工は工期が短い、物量が多い、作業場所がない、と3つの工程で最も難しい工事。工事長として、計画どおりに工事を完了させてコークス炉を稼働させるために心がけていることは、事前の準備を万全に行って作業環境を整えることです。私たちの一つ一つの作業が、製鉄プラントで40～50年も稼働し続けるコークス炉となり、

鉄を作るために不可欠なコークスの製造品質を決める重要な仕事となります。
この先の工程で作られる鉄が様々な製品となって、多くの人たちの暮らしを支えていく。その原点となる仕事に関わっていることを誇りに思います。

用語解説
コークス：鉄鉱石から鉄を取り出す際の還元剤として使われる。石炭を高温乾留して得られる、多孔質で固い炭素質の固体。無煙燃焼し、火力が強い。
コークス炉：石炭を蒸し焼きにしてコークスを製造する設備。

鉄をつくるために必要な 原料を取り扱う機械設備の 保全整備を行う。

名古屋支店 機械整備部
KENTO KATAOKA
片岡 健人



お客様との打ち合わせから 施工計画書作成まで 段取りを徹底する。

私は鉄をつくるための原料を取り扱う機械設備の保全整備を行っています。保全とは設備が不調となり停止しないよう、大小様々な整備や補修工事です。工事は計画的に実施される停止期間中に集中して行う場合と、日々の設備稼働中に行う場合があります。仕事の流れは、まずお客様と打ち合わせをして今回やる工事を確認するところか

ら始まります。打ち合わせの後、補修案を立てて施工計画書を作成し、工事に必要な資材や道具、レッカーなどの手配を行います。天井クレーンを使う予定なら、そのオペレーターを手配するのも私の仕事です。このとき気を付けていることは、同地区では他業者も工事を行っているため、干渉がないように調整すること、工事を行う場所や状況を把握して整理し、条件を整えることです。作業しやすい環境をつくることで、安全性と工品の品質が高まります。工事の成功は段取りで決まると言っても過言ではありません。あらかじめ現場現物を確認して入念に計画し、万全の準備をして工事を進めるよう心がけています。



危険な場所は あらかじめ把握し、 安全第一に工事を進める。

焼結地区の工事は様々な種類があるのが特徴です。工事当日は朝のミーティングで工事の内容、安全や品質のポイントを作業員と共有します。作業依頼書と施工計画書に沿って手順を説明し、工事箇所の図面を用いて危険な場所に対する共通認識を持つようしています。

製鉄所内の機械設備は常に動いている状態であるため、KY(危険予知)活動を行い、作業する一人ひとりが危険な場所をあらかじめ把握して安全第一に工事を進めることが目標です。高い場所での安全帯の着用、開口部を塞ぐ足場板、溶接の火花が落ちる下部の養生など、作業を始める前にやるべきことを徹底することは、安全面だけでなく作業効率を高めることにもつながります。工事が始まった後は必要に応じて現場を



見廻り、進捗を確認するのも現場監督の仕事です。その際に、危険な状態や行動を見つけた場合は即座に是正するようにしています。やはり現場の状況は日々、時間帯によっても変化するもの。朝大丈夫だったからといって、午後危険の可能性がないとは言えません。一日一瞬、一瞬の安全を確かめながら、施工計画書どおりに進行していくことが大切です。



工事完了後は記録書を 作成・保存し、次回の 補修のために役立てる。

現場の工事が完了したら、工事記録書や工程表などの実績をまとめて必要書類を作成します。これは完成報告に使用するとともに、後々、同じ箇所の工事をやる場合の参考資料になります。焼結地区の工事は多岐にわたるため、同様の補修を実施する際、工事の記録があれば準備段階からの進行もかなりスムーズになります。工事記録

をデータで保存し、すぐ取り出せるように整理整頓しています。重要な設備が突然壊れることも少なくありません。焼結設備で風を吸入する部位が故障し、緊急の補修工事を行ったことがあります。社内や協力会社の方たちと一丸となって補修工事を行い、予定していた工期を短縮することができました。これまでやったことのない補修でしたがミスなくスピーディーに工事を完了し、お客様から感謝状をいただいたことは嬉しい出来事でした。私が担当するエリアの機械設備が止まると、鉄の生産がストップしてしまいます。不調になった設備を補修して正常に動かす私たちの仕事、あらゆる製品に使われて

いる鉄を生み出すことにつながり、社会を支えていることに大きなやりがいを感じます。



用語解説

焼結：粉にした鉄鉱石を高炉にそのまま装入すると高炉が目詰まりするため、粉鉱石に粉コークスと石灰石を混ぜ、一定の大きさに焼き固める。この工程を焼結という。



Project.3 施工管理職
ベルトコンベア保全整備

870基のベルトコンベア 設備を一元管理し、 点検から補修までを担う。

名古屋支店 作業整備部
TATSUYA SAHARA
佐原 達也



壊れて動かなくなる前に 点検して不具合 箇所を見つける。



製鉄所内にある870基のベルトコンベア設備を一元管理するのが私たちの仕事です。ベルトコンベアは四六時中稼働しているので、故障してストップしたら材料を運べなくなり、製鉄工程に支障をきたします。そのためには、ベルトコンベアの細部に至るまで点検し、ほんの少しの不具合箇所も見逃さず補修しなければなりません。この仕事で一番重要になるのが点検。

ベルトコンベアが動いていても不具合のある箇所をそのままにしておくと、やがて壊れて運転不能になってしまいます。動かなくなる前に補修するためには確実な点検を行う必要があるのです。点検情報が挙がってきたら実際に現場へ行き、設備の不具合箇所を確認して重要度を判断します。軽度の不調で運転可能な箇所か、このままでは運転不能となる箇所か。優先順を判定して、重要度の高い設備から補修計画を立案します。保全整備の現場は共通して他社との干渉があるので、お客様や関係者と綿密な打ち合わせを行い、作業環境を整えることに全力を注ぎます。



いかに安全に作業できるか、 それを第一に考えて 工事をする。

点検の結果、補修が必要となった場合、補修工事ごとに施工手順書を作成。その手順書をもとに作業員と打ち合わせを行い、作業を進めていきます。点検だけでは十分伝わらない場合は、絵を描いたり図を用いたりして現場現物でしっかりと確認することもあります。危険

なポイントや品質基準を満たすための施工方法などを作業員と共有することは、工事を安全にスムーズに進めるために最も重要なことだからです。いかに安全に作業できるか、それを第一に考えて工事を組み立てることを心がけています。またベルトコンベア設備のメンテナンスにおいては、定期的に消耗品を取り替える作業も行います。そのため設備に必要な部品をあらかじめストックしておき、工場ですぐに取り替えられるよう準備し、補修工事当日の作業を効率化できるように努めています。ベルトコンベア設備の管理を一元的に任されているということは、仕事を自分で決



めるということです。言われたことをやるのではなく、不調になる前の問題箇所を事前に発見する。そのために自分たちが点検して何を補修するかを決めるのは大変ですが、やりがいが大きくなります。



改善が仕事。 PDCAを回して 追求し続ける。

補修工事が完了したらベルトコンベアの試運転を行い、確実に間違いなく不具合が解消されたかを確認します。動かしてみても不具合が解消されていない場合は再度補修を実施し、正常に回るようになるまで微調整を行います。自分で色々と考えて不具合を解消すること。設備の保全管理を任せられるやりがいは、それに尽きます。ベルトコンベアの補修を計画し、実施する工事は創造性の



高い仕事です。同じ補修をするにしても、補修工事の方法は状況によって変わってきます。だからこそ少しでも前回より良い方法はないかと、常にPDCAを回して追求する姿勢が大切です。改善こそ成長の源泉。私は改善していくのが仕事だと思います。製鉄所内で材料を運搬するために不可欠なベルトコンベア。その保全をする責任のなかで日々、改善を繰り返しています。この仕事に向いている人は、何でも自分

で考えて実行するのが好きな人です。創造性が豊かでモノを作るのが好きな人なら、スガテックの仕事は楽しいはず。そのような仲間と一緒に改善する喜びと世の中に貢献するやりがいを感じながら成長したいと思っています。

用語解説

ベルトコンベア：ローラーにベルトを輪状に掛けて回転させ、その上に材料をのせて連続的に運搬する装置。工場内の各設備に鉄鉱石や石炭などを運搬するために用いる。

PDCA：生産技術における品質管理などの継続的改善手法。計画→実行→評価→改善の4段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善していく。



設計職
水源タンク、散水母管設置工事の設計

お客様や施工監督を 巻き込んで検討を行い、 条件に合わせて設計する。

関東支店 設計グループ
YASUFUMI MIZUTA
水田 泰吏



工事全体の費用を 見積もるため、条件を 整理して仕様を決める。

設計の仕事は図面を描くことがメインですが、それだけではなく、計画から施工完了まで多岐に渡って関わる重要な仕事です。私が担当しているのは、石炭をコークス炉に運搬するベルトコンベアや石炭槽などの設備にサーモビューアや温度計を設置し、所定の危険温度まで達すると検知して散水する設備の設計です。今のエリア内だけで約60カ所に設置する

予定で、工事の費用を見積もるためには仕様や物量の整理が必要です。計画段階でお客様と密に打ち合わせしながら工事全体のプロセスを整理し、仕様を固めます。このとき実現性のない計画を立てないよう、施工を担当する監督としっかりと社内で打ち合わせを行い、安全や保全、運用面などの条件を整理して計画します。設計を早く仕上げて、施工に着手することで工期を短縮することができ、工事費用の削減につながります。そのためにお客様へのニーズを的確につかみ、関係者に共有して、より実現性の高い計画を立てることが求められます。



計画時より 施工性が上がるよう、 詳細まで設計を進める。

計画をもとに詳細の設計を進めます。計画はあくまで計画であり、正確な情報を落とし込んで図面を描かなくては、詳細設計はできません。この段階ではお客様を巻き込んで施工方針を確認しながら計画を具現化し、設備の製作工場や運搬方法などを決めることでお客様や施工部署のニーズに応じていきます。ポイントは、仕様や機能を満たすことはもとより、安全や品質に問題なく工事ができ

ること、工程が前倒しになるよう進めること。そして常にコストを意識することで。図面の詳細を描く際にも、関係者を巻き込んで検討を行い、当初の計画より施工性が上がるように進めていきます。工期を短縮するのは施工だけではなく、設計段階でも可能です。いかに早く詳細に設計を終えることができるか。そこを意識できるようになると、設計者として一人前と言えます。スガテックでは、人材育成も重要な仕事に位置付けています。新入社員を含めた若手社員が先輩社員に指導を受けながら、設計の一部を担当する。そして自ら設計することでスガテックの工事の流れを知り、設備に必要な材料や設置方法などを覚えていくのです。



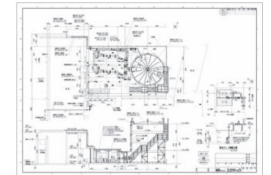
設計して終わりではなく、 現場状況に 合わせて対応する。

私たちの仕事は設計するだけでなく、設備の設置を終えてお客様に引き渡すまで気が抜けません。製作や施工の段階では、図面どおりに工事が進まない場合もあるからです。図面上では考慮できなかった干渉物が現場にある場合や、お客様から変更の要望がある場合などは図面を変更したり、現場で対処したりします。今回の場合は、計画段階から工事をする

までに約1年のタイムラグがあります。その間に現場の状況が変わっている可能性があり、そのときの条件に合わせて対応する必要があるのです。私が消火設備の設計を担当する以前は、スガテックはこの製鉄所での工事実績がありませんでした。設計と施工、それぞれを担当する人たちの真摯な対応と努力があり、今日まで信頼を積み重ね、現在ではお客様から特命受注を受けるまでになったことは、大きなやりがいです。設計者は施工担当者とは違い直接工事に関わりませんが、計画や設計をとおして人々の生活になくならない鉄の製造に関わります。その喜びと責任を胸に、お客様と関係者と一丸となり取り組んでいます。



CAD画面



CADを用いた実際の図面



設計職
高炉小羽口取替装置の設計・開発

危険な人力作業に替わり、 安全性・作業性を向上させる 新しい装置の開発に挑戦。

名古屋支店 技術部
YUSUKE SUMITANI
炭谷 佑介



現状の問題点を抽出し、
現場ニーズに即した
開発目標を立てる。



私の所属する部署では、現場での作業に使用する機械装置の設計・開発を行っています。製鉄所の高炉は鉄をつくるための上工程の設備で、最も高温となる場所です。この高炉内に吹き込む熱風の送風口を「小羽口」と呼び、高炉小羽口は過酷な環境にさらされているため、定期的な交換する必要があります。これまで、現場では小羽口の取替作業を人

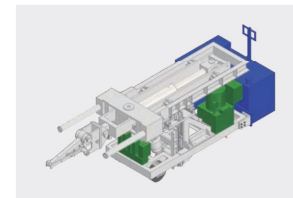
力で行っていました。作業には危険が伴い、かつ重労働であったため、その安全性や作業性を向上させる新しい装置開発に取り組んでいます。最初に行うのは、現状の問題点をすべて抽出することです。現場の状況や作業で改善すべきことなどを調査し、現場ニーズに即した開発目標を立てて開発期間を決定します。設計者である私が何度も現場へ行き、自分の目で確認し、作業する人とコミュニケーションをとりながら問題抽出をし、技術的な課題を明確にしていきます。製品企画の段階で大切になるポイントは、開発目標を達成するための技術的な課題をすべて挙げておくこと。そのために現場で作業する人としっかり話し合い、課題の抜けないようにすることを心がけています。



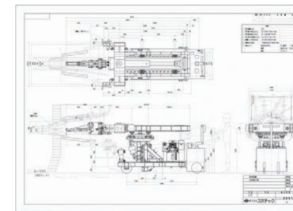
装置の構造を
具体化・図面化し、
詳細設計を突き詰める。

構想ができた基本設計に移ります。装置の構造を具体化するためにCADを用いて図面を描き、レイアウトを検討して製品のサイズを決定。図面化して現場で作業する人と打ち合わせを行い、この形状で良いか、どういう動きをするのかなどを確認していきます。ある程度基本設計が固まってきたら手計算と解析ソフトを活用して装置の強度計算を行うのも大切なこと。スガテックとし

ては初めて取り組む開発案件なので、完成後に現場へ出してから強度不足となるのを防ぐためです。基本設計をしてレイアウト、サイズ、強度などの承認を得たら、詳細設計を突き詰める段階へ。装置の図面を作成し、設計のポイントごとに関係者と話し合いの場を設け、設計根拠を説明することで装置の開発目標とズレが生じていないかを確認しながら進めていきます。設計はデスクの上でひとりだけで行っている現場ニーズに即したものではありません。ひとつひとつデザインレビューを行い、満たすべき項目を開発に関わるあらゆる観点から評価してもらうことで手戻りの防止を行っていくことが大切になります。



CADを用いた実際の3D図面



CADを用いた実際の図面



基本動作を確認し、
現場に搬入して
性能評価を行う。

装置を製作したらオフラインでテストを行い、基本動作の確認や設計どりの寸法であるかを確認します。これをクリアすれば、いよいよ現場に搬入して本番テストを実施。性能評価を行い、ひとつひとつ問題点を抽出していきます。この段階でもやはり、設計者である私が現場に何度も足を運び、自分の目で装置の動きや性能を確認することが大切で



係者とコミュニケーションを取りながら積み上げてきた喜びを感じます。これまで危険で重労働だった高炉小羽口の取替作業が安全に行われるようになる。従来は5人の作業員が必要だったところを2人で行い、省力化できるようになる。このような装置の設計・開発に関わることは、スガテックの開発グループで仕事をするうえで大きなやりがいとなっています。

用語解説

高炉：製鉄用の溶鉱炉。鉄鉱石とコークス、石灰石を入れて溶練し、下方に溜った鉄液を取り出す。



事務職
内部統制部門
Project.6

法令・社規則を遵守し、
安心して働ける
職場を整備。

本社 内部統制部
JUNKO KUROKI
黒木 淳子

「**各支店や事業部と連携し、
法令・社会規範の
遵守に取り組む。**

内部統制部の仕事は、業務に係る様々なリスクを排除し、影響を最小限に留めるためのルールを整備、運用することです。言い換えれば、安心して仕事をしてもらうための基盤づくりをすること。決められたルール通りの業務が行われているかの確認や評価、法令とルールの整合性確認、内部監査対応やコンプライアンス啓蒙の企画など幅広く担当しています。仕事は年間計画をもとに遂行されますが、突発の業務も発生します。そのため、長期的な視点に立ちつつ柔軟に対応し、スケジュールに影響を及ぼさないよう常に心がけています。

内部統制の業務は様々な部署と関わりを持ちます。法令やその取り扱いなど難解なものもあるため、十分な準備と整理をし、わかりやすく伝えることが大切です。根拠の整理や伝え方など日々模索しながら、相手に納得していただいた上で一緒に業務改善に取り組めるよう努めています。

「**「まじめにコツコツ誠実に」の
言葉のように、仕事を丁寧に。**

社員行動指針の一つ目は「まじめにコツコツ誠実に」。その言葉を大切に、小さなことでも手を抜かず、丁寧に、誠実に仕事を行うことは、一緒に仕事をする相手への尊敬や思いやり、そして信頼につながると思っています。スガテックは創業から100年の歴史を持

つ会社です。見えないところで素材の生産基盤を支えながら社会に貢献しており、働きがいを感じています。あたたかい社風の中に真面目な方が多く、入社当時から担当業務以外のことも多く教えていただき、人の温かさを感じてきました。内部統制部の業務は高い専門性が求められるため、スキルアップを心がけ、広い視野が持てるよう他部署の仕事を理解しながら信頼される担当者になれるよう努力していきます。



事務職
総務・経理・業務部門
Project.7

全国に支店がある当社の
各支店をまわり、
広い視野で業務に携わる。

東北支店 業務グループ
JOE ABE
阿部 穰

「**東北5県を股にかけて、
支店の様々な
生きた数字を扱う。**

私が所属する東北支店は宮城県、青森県、岩手県、秋田県、福島県に支店・事業所があります。東北5県を股にかけた事務管理全般が私の仕事。主に担当するのは、支店の売上・工事原価など生きた数字を扱う経理の仕事です。また、車両購入時の手続きや、事務所などの設備管理を行う総務の仕事や、お客様との見積り確認を行う仕事など幅広く対応します。スガテックは拠点が点在しているため、他支店と顔を合わせる機会が多くはありません。そこで表情がうかがえない分、電話やメールでは明るくコミュニケーションを取ろう心がけています。

決算の時期には他部署へ応援に行くこともあります。決算は経理で一番大変な仕事。それを無事乗り越え、応援先の方から「ありがとう」と言われたときは本当に嬉しく、この仕事のやりがいを感じます。

「**福利厚生が
充実しているため、
一人暮らしでも安心できる。**

仕事をするうえで一番大切なのはコミュニケーションだと思います。そして笑顔でハキハキと受け答えすることで、周りの人も笑顔で返してくれるようになる。相手との距離を縮め、気持ちの良いコミュニケーションをとる秘訣が笑顔なのです。入社時は東京の本社に配属になり、生まれて初めて一人暮らしをしました。福利厚



生が充実しており、借上寮で東京での生活を楽しまれました。当時の担当の方が入居手続きを親身に対応してくれるなど、温かい人が多く安心できる環境でした。東北支店の業務グループは少人数なため一人ひとりの職務範囲が広く、色々な知識が必要とされます。現在、入社4年目。これから業務の範囲拡大とスキルアップを目指して、スガテックの全国の支店を見てまわり、施工部門とも連携をとりながら広い視野で業務に携わっていきたいです。



技術職 2018年入社
室蘭支店 機械部
TAKI SUGAWARA
菅原 大樹

技術職 2019年入社
広畑支店 技術部
HIROYUKI KAWAZUMI
小泉 裕之

事務職 2019年入社
本社 技術部
YU ONODERA
小野寺 優

技術職 2017年入社
広畑支店 技術部
SHUNPEI SHIMOMURA
下村 俊平

スガテック若手座談会

100年の技術と信頼を未来につなぐ人

スガテックの最大の経営資源は『人財』です。
これまでの100年で培ってきた技術と信頼を未来につなぐ
若い人財4名がスガテックの教育・研修・福利厚生、
働く魅力について語り合いました。

Chapter 1

スガテックの教育・研修

どのような研修・教育を受けましたか？

下村 入社後すぐに新入社員研修があり、電話応対やPDCAサイクルなど、社会人としての基本的な心構えを教えてくださいました。一番印象に残っているのは給与明細の見方です。自分の給料を実際に計算しながら説明を受け、きちんとした会社だなと

いう印象を持ちました。支店に配属されるからは、技術の専門的な研修を受け、同時に半年後の機械設計技術者3級試験を目指します。資格取得後は施工課に配属され、施工に必要な知識を学んでいきます。
菅原 私はまず社会人としてのビジネスマナーや仕事の進め方、現場での安全に関する知識など、スガテックで仕事をしていくうえで基本となることを教わりました。今の仕事に通じているのは、現場でどのように安全管理をするかという安全衛生教育ですね。現場で危険をどのように判断するかを

リスクアセスメントと言いますが、それをグループワークで行う研修を受けました。これは現在、実際の業務でも実践しています。
小泉 スガテックの歴史を知る研修の一環として、伊勢の二見ヶ浦夫婦岩を訪れたのが印象に残っています。また、お客様への対応や安全についての研修は、実際に役立つことばかりです。現在は設計グループに配属され、現場作業に同行させてもらっ



新入社員研修

ビジネススキルからテクニカルスキルまで、1年間にわたる新入社員研修でプロフェッショナルとしての生きたスキルを身につけます。

	導入研修 <small>入社後4週間</small>	設計研修(現場&職種基礎知識の取得) <small>7ヶ月間(5月~11月)</small>			
技術系 設計系 施工系	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジネスマナー ■ コミュニケーションスキル ■ 機械要素 ■ 現場技能講習 ■ QC手法 ■ ISO 	<table border="1"> <tr> <td>技術系基礎知識取得 機会要素・鉄鋼材料・材料&構造力学・配管、溶接、締結・足場、吊り具、道具、工程表、設備概要・用語解説</td> <td>設計業務の基礎知識取得 図面作成・材料集計・計算、スケッチ、CAD操作</td> <td>その他 現場見学・安全教育受講 ※全国支店設計部門にて</td> </tr> </table>	技術系基礎知識取得 機会要素・鉄鋼材料・材料&構造力学・配管、溶接、締結・足場、吊り具、道具、工程表、設備概要・用語解説	設計業務の基礎知識取得 図面作成・材料集計・計算、スケッチ、CAD操作	その他 現場見学・安全教育受講 ※全国支店設計部門にて
技術系基礎知識取得 機会要素・鉄鋼材料・材料&構造力学・配管、溶接、締結・足場、吊り具、道具、工程表、設備概要・用語解説	設計業務の基礎知識取得 図面作成・材料集計・計算、スケッチ、CAD操作	その他 現場見学・安全教育受講 ※全国支店設計部門にて			
事務系	本社&支店 OJT				

注記：設計系、施工系は12月から翌年3月までは設計部門、施工部門の配属先にて実習



キャリアアップ制度

高い専門性と幅広い知見をもつ多機能型のプロフェッショナルを養成する
能力開発・育成制度により、自己実現やキャリアアップを支援しています。

能力開発体系図	主務職系						
	役職	資格	階層別研修	共通実務研修	役職教育	安全労務管理教育	専門実務教育
部長	理事			共通実務研修	部長教育	監督員専門	
統括マネジャ	理事補	上級管理職研修	全般項目		事業所長・工事所長教育	■ 見積精算基準 ■ 工事完成報告書	
所長・課長・GL	参事	管理職研修II	■ 社内規定 ■ 会計管理 ■ 業務管理		課長・GL教育	■ 設計・製台・鉄工 溶接(設計)・溶接(製作)	設計 監督 事務
マネジャ・係長	参事補	管理職研修I	■ 収益管理 ■ 人事・労務管理 ■ 資産管理 ■ 法令順守 ■ フォスト工事例		係長教育	■ 顧客提出ドキュメント ■ 配管(設計)配管(施工) ■ 土上とび・配付検査 機会加工・熱処理	
	副参事						設計 監督 事務
	主事	中堅社員研修				監督員レベルアップ研修	設計 監督 事務
一般社員	1級	一般社員研修	■ 受注管理 ■ 業務管理 ■ 設計管理 ■ 製作管理	専門項目			設計 監督 事務
	2級						設計 監督 事務
	3級	新入社員研修 ステップ-II	■ 施工管理 ■ プロジェクト管理 ■ 点検・整備管理			監督員 基礎・フォロー研修	設計 監督 事務
	4級						設計 監督 事務

ていますが、現場ではこのような危険があるから対策を講じる必要があるなど、日々、先輩からも安全教育を受けます。今は機械設計技術者3級の資格取得に向けて、勉強をしているところです。

下村 建設業では資格がないと工事が出来ないこともあり、資格を取得すると毎月の給与がUPする特定資格手当制度があるのが魅力的で、私も色々な資格にチャレンジしています。

小野寺 私が印象深かったのは入社6カ月後の研修です。一人ひとりが各職場で行ってきたことをプレゼンテーションします。この場で発表することで自分の課題の振り返りになり、同期のみんながどのようになっているのかを知る機会にもな

ります。一人ひとりが同期33名の前で発表するのは成長するために良い刺激になりました。今後の研修にも一生懸命に取り組みたいです。

Chapter 2 スガテックの福利厚生

福利厚生の印象は どのようなものですか？

小泉 広畑支店の独身寮に入居していますが、自転車通勤なのでストレスも溜まりません。会社から食費補助があるおかげで安心して生活を送ることができています。

下村 私も小泉君と同じ寮です。寮の魅力は補助が手厚いところ。寮費は周辺のアパート相場の2〜3割以下です。駐車場も無料で使えます。近くにスーパーや薬局もあり、必要な日用品はすべて揃うので便利。寮長の方とは時々ご飯を食べに行き、仕事の相談にも乗ってもらっています。

小野寺 私は会社のフットサルサークルに所属し、2カ月に1回参加しています。全員で約20名いて、ユニフォームも作ってゲームを楽しんでいます。ちなみに私の背番号は19番です。

菅原 空間支店の寮に入っていますが、とても居心地がいいですね。朝食と夕食があり、夕食は2種類から選べるので飽きません。しかも美味しいので、寮に入るとみんな太る(笑)。私も入寮後、3キロ体重が増えました。

下村 広畑支店では毎年、支店全体のレクリエーションとしてBBQをやるんです。社長や社員の家族にも参加いただき、総勢100名ほど参加。他部署の人とも話す機会があり、すぐに打ち解けられます。

菅原 空間支店でも毎年BBQをやっています。社員ばかりでなく協力会社の方も参加して交流しています。会話がはずみ、お互い仕事がやりやすくなりますね。



研修センター

人材育成の充実を目指し、愛知県東海市に研修センターを設置。名古屋支店工場内にある実習場と連携して技術系の実技研修にも対応。独身寮との複合施設です。

※120インチスクリーンを完備し、最大63人までの研修や100人までの発表会・セミナーなどが行えます。

※最大24名までの小規模による研修・会議に利用できます。



研修センター全景



研修室



グループ討議



研修宿泊室

福利厚生

個人の生活と心が満たされてこそ、全力で仕事に向かえます。スガテックでは、社員が豊かなワークライフバランスを実現できるよう福利厚生を整えています。

福利厚生制度の内容

社員がより良い環境で働くための 職場作りを目指しています

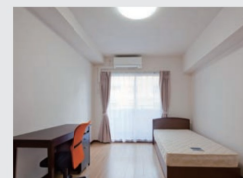
- 確定拠出年金制度
- 慶弔見舞金
- 従業員持株会
- 財形貯蓄
- 複身者補助(プラス15,400〜34,700円)
- 借上寮、独身寮(寮費:月額5,500円〜11,000円)
- 独身寮入居者食事補助(月額22,000円)
 - ・入居制限年齢35歳未満、
 - ・食事施設のない独身寮(マンション等)の場合
- 有休積立制度(最大100日)
- 育児休暇制度
- 介護休暇制度
- 特定資格手当制度(社指定の資格取得により毎月支給)



鹿島寮



名古屋寮 食堂



寮室



バーベキュー交流会

Chapter 3 スガテックの魅力について

スガテックの魅力は何ですか？

小野寺 社員を大切にしているところが魅力と感じています。面接試験でも対応が丁寧で親切だったのが印象的で、入社したいと思いました。

菅原 人柄の良さは私も感じます。年齢が近い人が関りに多く、気軽に接してくれ

ます。仕事やプライベートの相談をいつでもできる環境です。

小泉 寮にも歳の近い先輩が多いです。いつも「わからんことないか?」と気軽に声をかけてもらっています。下村さんもその一人です。

下村 私も先輩方にももらったことを小泉君にしているだけ。やはり社員の人の良さが、会社が100年続いてきた理由のひとつだと思います。

今後の目標は何ですか？

下村 早く一人立ちして、仕事を最初から最後まで切り回せるようになりたい。多大な時間をかけて教育してもらった分、会社に貢献したいですね。

菅原 私も今は先輩に付いて仕事していますが、一人で最終工程まで出来るようになるのが目標です。知識を蓄えて後輩に教えられるように頑張ります。



小泉 まだ社会人歴半年ですが、まずは知識を確実に増やしたい。それを業務に役立てていきたいです。

小野寺 今は目の前の仕事をこなすことで精一杯ですが、これからは部内の業務を自分主導で確実にこなせるように努力したいです。早く自分の専門分野を極めていきたいと思っています。



採用情報

 株式会社スガテック

スマートフォンでいますぐチェック!

<https://www.sugatec.co.jp/recruit/>



〒108-0022 東京都港区海岸3丁目20番20号 ヨコソーレインボータワー4F

〈 本社 〉 TEL : 03-6275-1200 FAX : 03-3769-5230

www.sugatec.co.jp